

Close Up 尚志ノート

家庭学習の状況を記録する尚志ノート。毎日このノートに記録をすることが学習習慣の定着や文章力の向上につながります。



【生徒の声】

- ・その日一日のことを反省できるので、今後に生かせる。
- ・名言があるので励まされる。
- ・ノートを使って先生とやり取りができる。
- ・提出物を書く欄があるので、忘れ物をしなくなる。
- ・学習時間を書き込むので、自分の頑張りが一目でわかる。
- ・行事等や基調教育のページはメモや感想を書く欄があるのでそのとき感じたことや思ったことを思い出せる。
- ・後ろに白いページや原稿用紙があるので、プリントを貼ったり、そのまま書き込めばなくすことがない。
- ・大学や就職の情報や年間予定表などがあり、使いやすい。

【先生方の声】

「尚志ノート」の力

進路指導部長 橋本 孝

尚志ノートは担任や学年主任とのコミュニケーションツールだと考えています。これを毎日提出し、担任に確認してもらうことで、生徒のみなさん一人ひとりが何を考えどう思っているのかを担任の先生と共有するものです。また、日々の学習習慣をチェックしたり、定期考査や模擬試験にむけての学習計画を立てるのにも役立ちます。基調教育や学校行事の時にも必要になります。毎日提出することで、一年後にはかけがえのないノートになりますので大切にしてください。

担任の強力サポーター「尚志ノート」

3学年主任 橋本 裕二

生徒と良好な関係を構築・維持する上で、尚志ノートの存在は実に大きい。毎日クラスの全員と会話したいと思ってもそれは相当難しい。しかし尚志ノートが確実にその代わりになってくれる。“日々の会話”に加え、出張中の空白を埋めてくれたり、過日の面接で言えなかった事を切り出したりと、その意義は様々だ。こんな私が、5度15年間の担任を恙なく終了できたのは、尚志ノートのお陰だと心底思っている。